

もも組クラスだより NO. 5

とても寒い日が続いています。園庭に出しておいた水が氷になっているのを見つけて、「みてみて！まるい氷や！」「すごい！」「なんで？」と驚いたり、部屋のヒヤシンスが少しずつ花を咲かせていることに気付いたり、友だちと教え合う姿が見られています。

もも組の子どもたちは、ごっこ遊びが大好きで、入園してから今までに「ダンゴムシ」「車を運転する人」「消防士さん」「かき氷屋さん」「こびとごっこ」「ケーキ屋さん」「サンタさん」「おうちの人」「レストラン」等、いろいろな生き物や人になって遊ぶことを楽しんできました。その中でなりきって遊びながら遊びの中で相手に思いを出したり、いろいろな気持ちの相手がいることを知ったり、自分が「こうしたい！」と思ったことができるように、遊びに必要なものを自分で作って使ったりしてきました。

3 学期も、子どもたちは一生懸命泳ぐオタマジャクシになって遊び始めました。毎日友だちと一緒に遊びながら自分なりに「こうしよう！」と思ったことを試してみています。クラスで読んでみんなが大好きな絵本「ぎろろんやまと10ぴきのかえる」のお話をもとに、もも組の子どもたちの想像を加えてオリジナルなお話が出来上がりました。



<劇あそびのねらい>

- お話の登場人物になりきって遊び、自分なりに表現する楽しさを味わう。
- お話で遊ぶ中で、「やってみたい」と思ったことを試したり、友だちと力を合わせて解決したりすることを楽しむ。

8ひきのカエルのぼうけん あらすじ

ある池に8匹のカエルのきょうだいがいました。カエルたちは池の周りでジャンプをしたり、泳いだりして楽しく過ごしていました。ある日、仲良しの友だちのケロリンさんが体調を崩してしまいました。

心配したカエルたちは、長老ガエルに教えてもらった「しゃっきりだけ」という薬になるきのこをとりに、遠いぎろろんやまの洞窟まで行くことにしました。

ぎろろんやまは遠く、途中には道に大きな穴があいていて、通れない場所もあります。

さあ、カエルたちはケロリンさんを助けることができるのでしょうか…

毎日カエルごっこの中で、自分なりに考えて仲間たちといろいろなことに挑戦して遊んでいます。劇遊び当日は、今している遊びの全部をするのではありませんが、ここでは子どもたちが毎日遊んでいる様子を見てください。

カエルジャンプ！

足が強いカエルはこうやってジャンプをするよ、と一人一人が自分なりに考えてカエルになりきってジャンプして遊んでいます。



指先までカエルになっているよ



カエルの気持ちで舌を出しているよ



高く
跳びたい

カエルになりきって自分なりの跳び方を考えて一生懸命に跳んでいるので、友だちがするやり方にも気持ちが向いて、自然と応援し合う姿が見られています。

友だちのカエルが跳んでいるときも応援する気持ちで見えています



遠くに跳びたい

隠れるんだ！

ザリガニや鳥、人間の子どもが来たときには、カエルだと分からないように、石や草のふりをして隠れています。



ザリガニ役の先生に、体を揺すられても、じっと石のフリをして隠れています



カエルになりきっているので、怖い生き物に捕まらないように隠れるときも真剣です！石のように体を丸めたり、床にぺたりとはりついて、視線も動かさずにじっとしたり、じぶんがカエルならこうする、と考えた表現をしています。

遊びにいるものを自分でつくるよ

遊びの中でのものは、自分で作って使っています。



カエルのお面を
自分でつくるよ



洞窟をつくろう、
ガムテープで
止められるかな



洞窟は暗いな、
頭の上にも
気を付けないとね

カエルの
リュックは
どうやって
つくるの？



あのね、
ここに
ひもを
つけたら
いいよ

自分立ちだけでやってみよう、
という気持ちが育っています。
友だちに聞いたり一緒にやったり
してできたことが自信につなが
り、「もっとやりたい」という思い
が湧いてきています。

大きな川を泳いで渡るよ

ジャンプでは越えられない大きな川を一人ずつ泳いで
渡りました



この手に
つかまって！

こっちだよ！



泳ぐときは
息を
とめよう

やったー！！
みんな泳いで
渡れたぞ！！

友だちと力を合わせて
「みんなでやったからできた」という達成感を感じ
ています。



友だちカエルのケロリンさん

友だちを助けるために、仲間と力を合わせてがんばろう！と自分たちで決めました。



ケロリンさんとお話をしたり、一緒に歌を歌ったりして仲良くなりました。



そんなある日、ケロリンさんが病気に！！

どうしたら助けられるかな？みんなで真剣に長老ガエルの話を聞いて考えています。



座席表



劇遊び当日のお願い

一年間の遊びや生活を通して、自分の思いを出ることができるようになってきた子どもたち、言葉や動きで表現しています。最近では困った事を友だちに聞いて解決したり、友だちと一緒に物事に取り組もうとする姿もよく見られるようになりました。劇の当日には、おうちの方がいらっしゃる雰囲気緊張する子どももいるかもしれませんが、温かい目で見守っていただき、終わった後で、子どもたちの自信につながるような言葉を掛けていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。